

3・11 福島へ!

2012年 2月27日
7

Tel 050-3036-6464
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長)書記局通信

全国学生の3・11結集アピール

大学から御用学者たたき出し自治会建設を!

大森靖之副委員長(京都大学)



現在、被災地では野田政権による「原発収束」キャンペーンの攻撃がかけられています。この無責任極まりない新自由主義の攻撃に対して、日本の労働者・学生・農漁民が対決できるか否かが、今後の社会運営の主体を決める大焦点となっています。

この中で被災地の労働組合が、反原発・非正規職撤廃を掲げ、地域に根ざした運動を始めていることが決定的です。彼らが呼びかけている集会在3・11福島県民大集会です。

3・11福島県民集会へは、それぞれの職場キャンパスで闘ってから来て欲しいと呼びかけられています。

京大では1月31日に、大飯原発ストレステストを認可した東大・岡本教授が主催する高性能原発の研究会がありました。これと対決して、御用学者をたたき出す勝利をかちとっています。いよいよ京大でも自治会権力を取り、2万京大生と討論し運営主体にしていく闘いを始めます。全ての学生は仲間と団結して新自由主義に立ち向かい、3月11日郡山市開成山球場に登場しよう!



ギリシャでは空前のゼネストが闘われている(写真は2月7日)



イスラエルで50万人のゼネスト(2/13)

首都圏大学1年生

これからの日本の未来のために原発はなくさないといけません。3・11で私たち都市の住民が使っている電気は、ほかの誰かを被ばくの危険にさらしてつくられていると、嫌でも知ってしまいました。都民が知らないふりはできないと思いました。

正直私はいざという時弱気になります。けれど苦しんでいる人がいて、やりきれない思いで毎日過ごしている人がいる。この事実は在り続けます。見えない時も、誰かを犠牲にする仕組みがある限り全く変わらなく在り続けます。そんな日本のままでは精神的にも物理的にも住んでいられないです。ほかの国が変えてくれるのを待っていたらきっと滅ぶまで変わらないでしょう。だから自分たちで変えないといけない。国民が強く方向を定めれば必ず変えられます。3・11でかじを切っていきましょう!

経済産業省へ署名の提出行動

2月28日 13:30
経産省前・脱原発テント前
(東京メトロ「霞が関駅」
A12a出口すぐ)に集合



全学連福島現地行動隊からの訴え 2

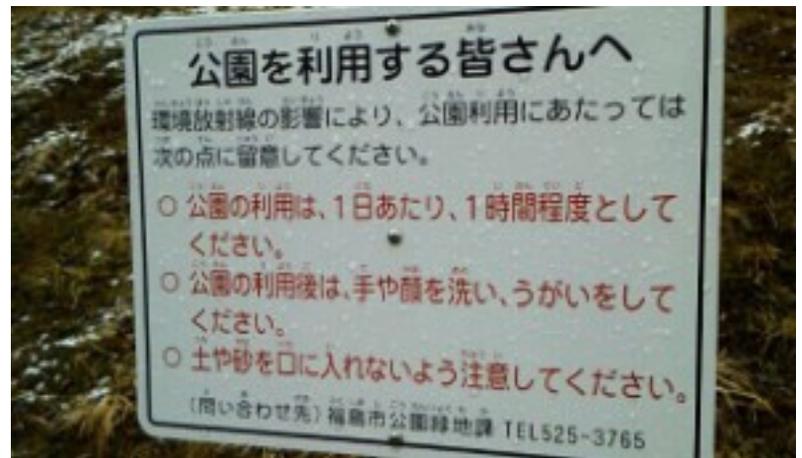
やっぱり、郡山市は線量が高いです。小学校・中学校によって、まちまちですが、放射線管理区域を超える(0.4 μ Sv/h以上)の場所が郡山市にもたくさんあります。除染をしたであろう学校もありました。(松の幹の表面が削ってある、落ち葉が掃除してある、土が削られ、校庭の一カ所に集積)

この中で、子ども達はマスクをつけずにキャッチボールをしていたり、教室の空気の入替えの為、「5分間窓を空けて空気の入替えをして下さい。」との放送があり、空気の入替えをしています。福島に来て、住んで、感じることは多いです。放射線を一時も忘れるときはありません。

12月に野田首相が原発事故の「収束宣言」を行い、あたかも原発事故は解決したかのように報道され、あるいは広大の神谷教授が、「放射能は心配ない」「避難の必要はない」と福島で放射能健康リスク管理アドバイザーとして講演会を行って来てます。しかし、実際は福島は放射線の値はまだ高いです。健康被害も出始めています。

原発再稼働のために、福島県民を避難もさせない、それに手を貸す大学、大学教授(御用学者)を学生の力で変えていこう！ 原発推進の大学を変える力は学生にある！

3・11は、原発いらない！福島県民大集会にかけつけよう！（広島大生）



福島の公園にはこの看板が必ず立っている！



線量1.37 μ Sv/h 郡山市のある学校で。放射線管理区域に当たる値。



工事現場で見つけた「原発NO!」

「再稼働阻止！全原発廃炉」に向けて、みんなで参加しよう！

原発いらない！3/11県民集会

【要項】 3月11日(日)福島県郡山市・開成山球場
13:00～オープニングコンサート 15:00～デモ
夕方から全国学生集会やります！